

共同研究シーズ説明会 2016

獣医系・生命工学系

病理診断・バイオセンシング・創薬・再生医療

11.4 [金] 13:30~17:30

場所 科学博物館 (小金井キャンパス)

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

<http://web.tuat.ac.jp/~museum/information/guide.html>

内容 研究シーズ発表 (ポスター形式 21件予定)
ショートプレゼンテーション、個別相談

参加費 無料

参加ご希望の方は、以下のサイトから登録をお願いします。

<http://www.rd.tuat.ac.jp/NEWS/event/20161104.html>

東京農工大学
科学博物館



お問い合わせ先

東京農工大学研究推進部研究支援課
✉ tkagiten@cc.tuat.ac.jp

プログラム Program

13:30 開会挨拶 瀨瀬 明伯
(理事[学術・研究担当]・副学長)

13:35 参加研究室による
ショートプレゼンテーション

15:00 ポスター発表 (シーズ21件、裏面参照)
個別相談ブースあり

17:30 終了

地球をまわそう。MORE SENSE! 農工大

企業のイノベーションニーズと東京農工大学の研究シーズのマッチングを目的として、「東京農工大学共同研究シーズ説明会 2016」を開催します。最先端の研究シーズを学内の研究者が説明します。技術連携や共同研究の機会としてご活用いただければ幸いです。

シーズリスト 予定

共同獣医学科

氏名	発表題目 (シーズ名)
V1 古谷 哲也	ネコの慢性腎炎の原因となりうるネコモルビリウイルス感染症について
V2 西藤 公司	皮膚バリア機能欠損動物モデルを利用した各種外用薬の有効性評価
V3 金田 正弘	エピジェネティクス薬剤による抗癌作用の検証
V4 竹原 一明	マイクロナノバブルオゾン水による食の安全性確保の研究
V5 吉田 敏則	病態モデル動物を用いた薬物の安全性評価および新規分子機構の解明
V6 永岡 謙太郎	抗菌性を示す母乳中アミノ酸代謝酵素の腸内細菌叢へ与える影響
V7 佐々木 一昭	超音波による薬剤の取り込み促進に関する研究
V8 渡辺 元	内分泌環境の測定による生体恒常性維持機構の破綻に関する研究
V9 渋谷 淳	ラット、マウスを用いた各種の in vivo 疾患モデルに対する分子病理学的な有効性評価研究

生命工学科

氏名	発表題目 (シーズ名)
L1 中村 暢文	アンペロメトリックバイオセンサのための酵素電極作製技術
L2 池袋 一典	バイオセンシング素子としてのアプタマーの有用性
L3 長澤 和夫	低分子化合物を用いた DNA 非二重鎖構造の安定化を基盤とする創薬技術
L4 稲田 全規	バイオイメージングを活用した転移性癌の創薬評価技術
L5 太田 善浩	酸化ストレス抑制の標的としてのミトコンドリア機能測定技術
L6 黒田 裕	VanX の溶菌効果を用いた新規スクリーニング法の開発ーガウシア・ルシフェラーゼへの応用
L7 櫻井 香里	抗癌活性サポニン OSW-1 の作用機序解明に向けた標的タンパク質探索
L8 吉野 知子	Microcavity array 技術に基づく単一細胞の核酸解析技術の開発
L9 浅野 竜太郎	人工抗体に基づく次世代型タンパク質製剤の開発とバイオセンサーへの展開
L10 川野 竜司	人工細胞膜を用いた膜タンパク研究とバイオセンサへの応用
L11 篠原 恭介	ノックアウトマウス・電子顕微鏡・タンパク質工学を用いた原発性纖毛運動不全症 (PCD) の発症メカニズムの解明
L12 中澤 靖元	シルクフィブロインの高機能化とメディカルデバイスへの応用技術



JR 中央線「東小金井駅 nonowa 口」から徒歩約 8 分

- 発表者、発表題目は変更することがあります。
- 13:30 ~ 17:30 は常時受け付けしています。
- 会場に個別相談ブースを用意しております。